

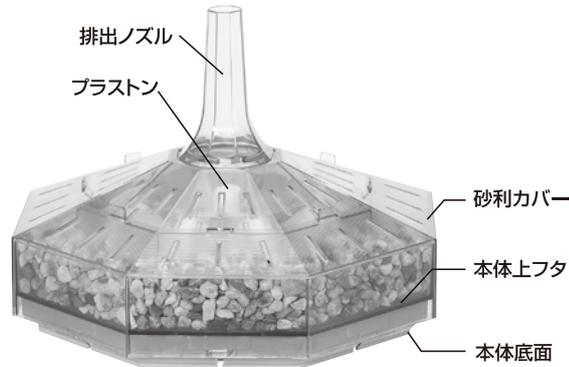
### 安全にお使いいただくために



お使いいただく前に説明文をよく読み、ご理解いただいてからお使いください。

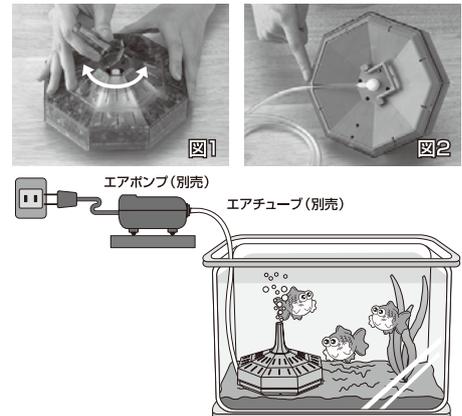
- 本製品は観賞魚飼育専用です。他の目的では使用しないでください。
- セット時、魚の出し入れ、点検、掃除など水中に手を入れるときは、必ずすべての電源を切ってください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

### 各部の名称



### セットの順番／設置例

- ①排出ノズルを本体上フタに取り付けます。排出ノズルを溝に合わせ、半回転します。(図1)  
(注意) 排出ノズルを取り付けずに使用すると、ろ過能力が低下する場合があります。
- ②エアチューブ(別売)を本体底面の穴に通し、ジョイントに繋がせます。(図2)
- ③本体を水槽にセットします。本体を水槽の砂利に埋めると、よりろ過能力が上がります。
- ④エアチューブの片側をエアポンプ(別売)に繋がせます。
- ⑤エアポンプの電源プラグを電源コンセントに差し込むと、本体より気泡が出始め作動します。  
(注意) エアポンプは水槽より高い位置に設置してください。低い位置に設置すると水槽内の水がエアポンプ内に逆流することがあります。



### 日常のお手入れと交換

#### 〈ろ材〉

- ろ材は定期的に水洗い、交換してください。(ろ材のくぼみにゴミがたまった頃を目安にしてください。)
- ろ材の水洗いは、本体底面の枠から外さずに飼育水で軽くすすぐ程度にしてください。水道水での水洗いは塩素の影響でろ材に定着した微生物が減少します。また、洗剤は絶対に使用しないでください。
- ろ材の交換と水換えは別々に行ってください。同時に行くと水質が急変し、魚等が衰弱したり死んでしまう場合もあります。また、水換えは1/3程度を目安にしてください。
- 砂利をこぼさず、ろ材部だけを取り外すことができます。

#### 〈砂利〉

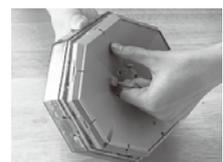
- 砂利は定期的に水洗いしてください。



詳しくはこちらをご覧ください  
<https://www.suisaku.com/mv-flowerdx/>



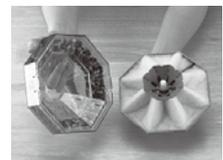
①排出ノズルを半回転して、取り外します。



②本体上フタの穴と本体底面のフックに指をかけます。



③本体上フタと本体底面を上下に引いて取り外します。



④本体底面の枠から外さずにそのままろ材を洗います。



①本体上から出ている半円状の突起を親指でおさえながら、砂利カバー左右のストッパーを広げるように持ち上げて外します。



②本体上フタの砂利を他の容器に移し、軽く水洗いしてください。

〈プラストン〉

- ・エア量が減ったり、気泡が大きくなった場合はプラストンを交換してください。  
プラストンが目詰まりすると気泡がでなくなり、ろ過能力が低下することがあります。



正常な気泡



気泡が大きい  
(粗い)

プラストンは水を十分含ませてからご使用ください。約1日で細かい気泡になります。



気泡が少ない  
(細かい)

プラストンの目詰まり、またはエアポンプの機能低下が考えられます。交換してください。

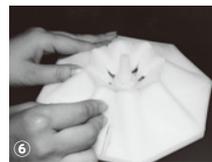
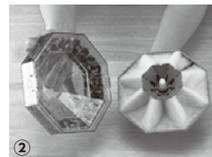


気泡のかたまり  
が出る

ろ材や砂利が目詰まりしています。水洗い、または交換してください。

交換ろ材の取り替え方

- ① 排出ノズルを半回転して取り外します。
- ② 本体底面を外し、汚れたろ材を取り外します。
- ③ 本体底面の枠に一ヶ所だけ低い壁があります。ろ材のやわらかい方を上にし、ろ材の端を壁に合わせます。
- ④ 本体底面の枠中央部の突起にろ材を押さえ込み、引っかけます。
- ⑤ 本体底面の枠にろ材の折り目を合わせながらはめていきます。
- ⑥ 同じ要領ですべて枠にはめ込みます。



△ろ材メンテナンス時の注意

- ・マットをろ材枠から外さないでください
- ・洗剤や水道水は使わないでください
- ・ろ材の交換は水換えと別々におこなってください

- ろ材の交換は専用の「水作フラワー DX 交換ろ材」をご利用ください。
- プラストンの交換は「プラストン」をご利用ください。
- ※サイズをお間違えのないようにお買い求めください。
- ・本製品は、別売のエアポンプとエアチューブを接続することで作動します。
- ・製品改良のため、仕様・デザインなど、断りなく変更することがあります。ご了承ください。